

会議録

会議の名称	令和4年度 第1回福津市郷づくり推進協議会代表者会議
開催日時	令和4年5月19日(木)14:00~15:30
開催場所	市役所別館1階 大ホール
委員	勝浦：天野 保章、荻原 哲夫 津屋崎：御厨 忠男、坂口 勝繁 宮司：坂根 康廣、梅野 邦彦 福間：佐伯 美保、梅谷 寧次 神興：富松 享一、山西 祐司 上西郷：高木 文明、畑 清喜 神興東：奥 弘子、樋口 英典 福間南：石橋 和義、山本 正則
専任事務局員	勝浦：花田孝信 宮司：高林万里 神興：君嶋久美子 福間：廣渡策生 上西郷：末廣隆、倉元敏徳 神興東：宮崎絵美 福間南：池田典彦
市	原崎市長(欠席) 選挙管理委員会：花田係長、井上 防災安全課：羽田野課長、楨係長、向井(泰)係長
事務局	まちづくり推進室：香田理事、向井(恭)係長、折居
会議	内容
	配付資料

1. 市長あいさつ
2. 郷づくり推進協議会代表者会議について
3. 出席者の自己紹介
4. 会長・副会長の互選
5. 依頼・説明事項
 - (1) 参議院議員選挙・市議会議員選挙・県議会議員選挙の投票管理者及び立会人の推薦依頼(選挙管理委員会)
 - (2) 福津市一斉防災訓練の実施について(防災安全課)
 - (3) 国土強靱化地域計画策定に関する地域への説明・意見聴取会の開催について(防災安全課)
6. その他

- 福津市郷づくり推進協議会代表者会議設置要綱
- 令和4年度 福津市郷づくり推進協議会代表者会議委員名簿
- 投票管理者等の選任について(依頼)
- 福津市一斉防災訓練実施要領(令和4年度)、自主防災組織訓練の概要
- 国土強靱化地域計画策定に関する地域への説明・意見聴取会の開催について

会議内容(要点)

1. 市長あいさつ

香田理事が代理であいさつを述べた。

2. 郷づくり推進協議会代表者会議について

(まちづくり推進室)

郷づくり推進協議会代表者会議の趣旨・目的について、福津市郷づくり推進協議会代表者会議設置要綱を基に説明した。

3. 出席者の自己紹介

各委員の自己紹介を行った。

4. 会長・副会長の互選

(まちづくり推進室)

福津市郷づくり推進協議会代表者会議設置要綱の規定により、会長1名と副会長を2名選出していただく必要がある。また、任期を1年とし2年を限度に再任を妨げないとあり、昨年度は改選により会長に神興東の奥会長、副会長に神興の富松会長、福間の佐伯会長という体制であった。互選により選出していただくことになっているが、委員のみなさまいかがであろうか。特になければ、事務局に一任いただけるであろうか。

(委員一同)

事務局に一任する。

(まちづくり推進室)

それでは、会長には、神興東地域の奥会長、副会長には神興地域の富松会長、福間地域の佐伯会長に再任をお願いしたい。

・一同の賛同により承認された。

5. 依頼・説明事項

(1) 参議院議員選挙・市議会議員選挙・県議会議員選挙の投票管理者及び立会人の推薦依頼
(選挙管理委員会)

選挙管理委員会が、令和4年7月に実施予定の参議院議員選挙の投票管理者及び投票立会人の推薦のお願いや今後の選挙予定について説明した。

(会長)

推薦者を選出した後は、推薦者に個別に案内がいくということか。

(選挙管理委員会)

推薦書をいただいた後は、ご本人に対し個別に通知をさせていただく。

(2) 福津市一斉防災訓練の実施について(防災安全課)

防災安全課が、福津市一斉防災訓練の実施について説明した。

(会長)

消防署や自衛隊の申し込みは先着順か。複数申し込みが出た場合はどのように選ばれるのか。

(防災安全課)

実施要領には消防署 3 箇所、自衛隊 1 箇所と記載している。自衛隊については数の変更はないが、消防署については、なるべく地域の要望に応えたいという気持ちがあるため、数を増やしていただけるようお願いしていきたい。それ以上の申し込みが出た場合は、訓練において消防署の活動がまだない地域を優先させていただきたい。

(委員)

数年前に水光会病院との訓練があったが、そのあたりの訓練の実施はどうなっているか。

(防災安全課)

令和元年度に職員参集訓練の中で、水光会病院に加わっていただいた経緯はある。水光会病院から派遣された医師や看護師を含めたディーマットに来ていただき、発災時に怪我人が出たという想定の中で訓練したが、その後の令和 2 年度、令和 3 年度については、コロナ禍により実施できていない。また、今年度はそこまでの想定はしていない。

(委員)

中学校は何か実施する予定はあるか。

(防災安全課)

小学校の校長先生にはお話に行く予定だが、中学生は地域の訓練に入るという想定もあり、基本的に小学校に対するお願いになると思う。

(委員)

実際に災害が発生した場合の組織図や緊急連絡網はあるのか。携帯電話がなくななくなった場合はどうするのか。

(防災安全課)

防災計画に載っているものが基本になる。通信が途絶した際には、各避難所付近に設置している防災行政無線を使用して、災害対策本部と地域がやり取りをするところしかはっきりと申し上げられない。その後の流れについては整理させていただき、皆様方にお配りできるような資料をつくらせていただきたいと思います。

(委員)

一斉防災訓練の際に、本部に市全体の司令塔は立つのか。また、報告の義務はあるのか。

(防災安全課)

市のほうをお願いしているものについては自助共助のスタートラインの部分だというふうに取り組んでこれまで実施させていただいてきた。有事の際の行動を身につけていただくというところでは、どのくらいの世帯が参加いただいたのか見極める訓練となっている。

終了後即座に市に報告は求めておらず、取りまとめていただいた後、なるべく速やかに報告をお願いしている。

(委員)

過去にタオルかけ等の報告義務があり市のほうに報告はしているが、市からはその集計結果しか来ない。その集計に基づいての市の方針や考えがないと意味がないのではないか。

(防災安全課)

確かにご指摘のとおりだと思っている。本年度すぐにその期待に応えられるかは断言できないが、良くしていかなければいけない。参加者を増やしていかなければいけないということを踏まえて取り組んで

いきたいと思う。

(委員)

この訓練の中では、災害対策本部の立ち上げなど、実際に市がどう動くという訓練はされていないように思う。市民だけにするのはではなく、市役所としても実施するべきだと思うが。

(防災安全課)

同時刻に職員の参集訓練は実施している。災害発生時に防災担当がすぐに市役所まで来られないという現状もあるため、近住職員がまず集まり、集まったのち災害対策本部を設置する。防災担当が到着するまでにやれることを取り組んでいる訓練はあるが、なかなかそれが見える形になっていなかったのだと思う。そのあたりについては今後気を付けていきたい。

市の職員が地域の訓練にお手伝いできていない現状があると思うが、必要であれば事前にお申し出いただいて職員を派遣することは可能である。

(委員)

災害対策本部の立ち上げは市長が行うはず。実際に市長の指揮のもとに訓練をすることが大切だと思うため、ぜひ検討していただきたい。

(防災安全課)

地域の訓練に顔を出された後、災害対策本部設置訓練に合流している。ご意見は市長に伝える。

(会長)

防災推進員は何名いるのか。

(防災安全課)

市内に 35 名いらっしゃる。今年度末をもって認定期間が切れるため、年明けには更新の手続きに入らせていただきたいと思っている。

(会長)

各郷づくり地域の皆さんにも地域に防災推進員がいるということを周知していただけたらと思う。

(3) 国土強靱化地域計画策定に関する地域への説明・意見聴取会の開催について(防災安全課)

防災安全課が国土強靱化地域計画策定に関する説明・意見聴取会の開催について説明した。

(会長)

地域への説明・意見聴取会の日程は土日や夜も可能ということか。

(防災安全課)

可能である。

(委員)

説明会のねらいはどこにあるのか。

(防災安全課)

市として国土強靱化計画を立てるということを知っていただきたいという意向がある。また、市からお願いして様々な取り組みを進めていただいている最中であるため、その状況をお伺いしながら今後どうすればよりうまく進めていけるのか等のご意見をいただきたい。計画に載せられる内容であれば、載せたいと思っている。その先の具体的な話となれば、防災安全課としての今後の進め方に活かしていきたい。

(委員)

この施策が計画としてまとめ、実行に移すまでに相当な時間がかかる。災害は待ってくれない。今すぐしなければいけない問題もたくさんあり、計画よりも、今何に取り組んでいるのかというのが最も大事ではないかと思う。また、地震よりも水害のほうが私たちにとって身近であり、そういうところをもっと具体的に取り組んでいただきたい。

(防災安全課)

水害と地震の大きな違いはタイミングの問題であるということもあり、ある程度予測しながら動いていける水害と、ある日突然のように起こる地震とは異なるため、一斉防災訓練は地震を想定した訓練をさせていただいている。今後付け足して、水害編として取り組む可能性が全くないわけではない。

また、すぐ取り組むという部分は、冒頭に申した地域防災計画に基づいて予防に取り組んできた経緯がある。実際に被災をすると、被災地が復旧、復興するまでにかなりの時間がかかり、なかなか元の姿に戻ることが難しいということもあるため、地域防災計画だけではなく、この部分に特化したものを作っていこうというのが国土強靱化計画でもある。すでに地域で取り組んでいただいている事業等を伺うと同時に、地域防災計画において取り組んでいただいている部分も伺いたいと考えている。担当課だけでは処理しきれない部分もあると思うが、それは一度持ち帰らせていただき、庁内で共有していきたいと思う。

(委員)

集中豪雨による溜池の決壊の被害が心配。計画作りもいいが、現地で地元の人と立ち会いながら溜池の調査をしていただきたい。災害発生後の取り組みは進んでいるが、災害発生前の取り組みが後手に回っているように思う。

(委員)

危険箇所を地域に聞いて回るのであれば、早く取り掛からないと対策が取れない。また、いつから行うのか早急に決めていただきたい。

(防災安全課)

早急に郷づくりと打ち合わせをし、日程を決めていきたい。

(会長)

郷づくりごとの説明・意見聴取会の前にアンケートを実施し、それを基に話をすると話しやすいのではないかと思う。

(委員)

地理的に避難所として使用ができない場所、従来の避難場所、新たな避難場所等を含め、昨年、実際の避難時における課題が随分上がってきたと思うが、その後の進展や現在検討していることがあれば教えてもらいたい。

(防災安全課)

現時点では、南小校区の指定避難所は福間南小学校のみ。ハザードマップを見ると、確かに色がついているが、これは千年に一回程度の水害の予測を載せているためである。一旦は避難所に逃げただいた後、万が一雨量が増した場合は、校舎側に上がっていただくことを想定している。また、現時点では指定避難所や指定緊急避難場所の変更は想定しておらず、福間中学校の改装に伴う変更点もない。

(委員)

国土強靱化に向けた取組イメージに、住民や郷づくりが何をするのか具体的に書かれていないため、地域に説明する際はその部分も説明をしながら意見聴取会をしていただきたい。

(委員)

この計画は、郷づくりに地域防災の取りまとめの機能を求めているのか等、郷づくりの位置づけが見えない部分がある。郷づくりが腑に落ちる説明を求める。

(会長)

計画策定はいつごろ終わる予定か。

(防災安全課)

計画は12月～来年1月頃で作り上げたいと思っている。

(会長)

パブリックコメントが出た際に、あまり意見が出ない風潮がある。パブリックコメントが出た際にはぜひ各郷づくり内で話し合い、意見を出していただければいいと思う。

(会長)

以上で説明事項は、終わりにさせていただく。

(まちづくり推進室)

以上で郷づくり推進協議会代表者会議を終了する。